

# 【パルウェーブ健康チェック表】

ダイビングにご参加されるにあたり、安全最優先のため健康状態の確認が必須事項になっております。  
薬を服用してのダイビングは、作用・副作用が陸上より強く出たり、体調が悪い時は逆に急に悪化する恐れがあります。

下記チェックリストを全てチェックしていただき、現在・過去に関わらず該当する項目があればお申し出ください。

**オープンウォーターダイバーコースは「狭いところが苦手な方」「暗いところが苦手な方」は水中に入ることができませんのでご参加をお控えください。**

症状によっては、PADI専用の書式による医師の診断書を提出して頂く必要がありますので予めご了承下さい。

下記の項目以外にもダイビングに参加される日の前日や当日の体調により、ダイビングへの参加ができない場合があります。

ダイビングをより楽しむためにも、ご参加日に向けて体調を整えるよう、十分にお気をつけください。

**ダイビング前日の深酒はお控えください、朝の時点でお酒が残っている場合は参加をお断りいたします。**

ダイビングでは耳抜きという行為が必要となるため、風邪等で鼻がつまっている場合、ご参加できない場合があります。

現在症状がなくても、過去の病歴(既往症)によってはご参加頂けない場合がございます。

**てんかん、妊娠中の方のご参加はお断りしております。**

**過去5年以内に喘息の発作があった方は水中の環境により再発する可能性がありお断りしております。**

## 【病歴診断表】

- 現在妊娠をしている、もしくはその可能性がある。
- 現在処方せんによる投薬を受けている。(マラリヤ予防薬、避妊薬は除く)
- 45歳以上の方で、以下の項目がひとつ以上当てはまる
- パイプ、葉巻、タバコを喫煙している
- コレステロール値レベルが高い
- 家族に心臓発作や脳卒中の病歴がある方がいる
- 現在診療を受けている
- 高血圧である
- 食事療法で調整しているが糖尿病である

▼▼▼以前に以下の病気にかかったことがある、または現在かかっていますか？

- 喘息(ぜんそく)、あるいは呼吸時の喘息(ぜいぜいする)、または運動時に喘鳴が起きる、または起きたことがあった。
- 花粉症、またはアレルギー症状の激しい発作、あるいは頻繁な発作がある。
- カゼ、副鼻腔炎、または気管支炎によくかかる。存症になったことがある。

→→→→裏面へ続きます。→→→→→

- 何らかの肺の病気(肺炎など)がある、またはなったことがある。
- 気胸がある、またはなったことがある。
- その他の肺の病気がある、またはなったことがある。もしくは肺(胸部)の手術を受けたことがある。
- 行動上の問題、または精神的、心理的な問題がある、またはなったことがある(不安発作、閉所恐怖症、広場恐怖症など)。
- てんかん、発作、けいれんをおこす、またはそれを抑えるための薬を服用している。
- 複雑型偏頭痛を繰り返し起こす、またはそれを抑えるための薬を服用している
- 意識喪失や、気絶したことがある。(完全、または一時的に意識を失う)
- 乗り物酔いがよくある。または乗り物酔いが激しくある(船酔いや車酔いなど)。
- 赤痢または脱水症状で治療が必要である。
- 何らかのダイビング事故や減圧症である、またはなったことがある。
- 中等度の運動ができない(例えば、約1.6キロの距離を12分以内で歩くことができない)。
- 過去5年間に、意識を失う頭部の損傷があった。
- 腰痛を繰り返し起こす。
- 腰部または背骨の手術を受けている。
- 糖尿病である、または、なったことがある。
- 腰、腕、脚の外科手術、、外傷や骨折後の後遺症がある。
- 高血圧症、または血圧降下剤など、血圧をコントロールする薬を服用しているまたはしていた。
- 心臓疾患にかかっている、または、わずらっていた。
- 心臓発作がおきる、またはおきたことがある。
- 狭心症、あるいは、心臓外科手術、または動脈手術を受けている。
- 副鼻腔の手術を受けている。
- 耳の病気や手術を受けたり、聴覚障害、平衡感覚障害である。
- 耳の病気を繰り返し起こす、または起こしていた。
- 出血やその他の血液障害がある、またはあった。
- ヘルニアにかかっている、またはわずらっていたことがある。
- 潰瘍、または潰瘍の外科手術を受けている。
- 大腸や回腸の人工肛門の手術を受けている。
- 過去5年間に娯楽で麻薬を使用したり、治療のために麻薬を用いた、あるいはアルコール依存症になったことがある。

スタッフ  
サイン

参加者署名

日付

未成年の場合、保護者の署名(親権者あるいは後見人)

日付